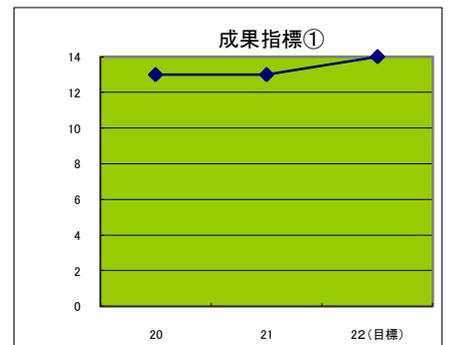
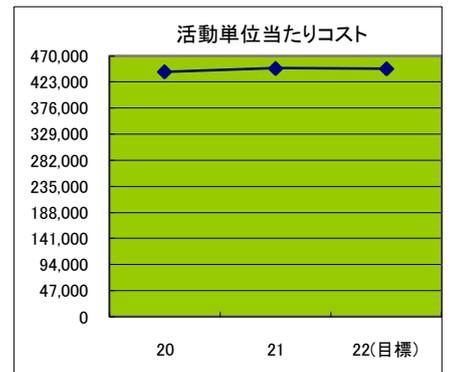


平成 22 年度 事務事業評価シート(平成 21 年度実施事業)

整理番号 教生社28

事務事業名		留守家庭児童会事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	10	教育費
					項	1	教育総務費
					目	3	課外対策費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち	事業	3	留守家庭児童会	
	施策(節)	1	子育て支援	作成部署			教育委員会事務局生涯学習室社会教育課
	施策の方向	(3)	子どもの居場所づくり				
関連する計画等				羽曳野市次世代育成支援行動計画			
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先		072-958-1111	内線 4500
	放課後に留守家庭となる児童(小学1年生~3年生)						
	意図(どういう状態にしたいのか) 放課後の児童の安全確保と集団生活の確立をめざす。						
事業の内容	放課後帰宅しても保護者の保護下でない児童(小学生1~3年生)を対象に、指導員のもと安全確保と集団生活の確立を目標としている。						
	内容としては、放課後当該教室に各児童で移動し、学習(宿題)への促しや、集団での生活及び遊びを指導員の指導のもとで行う。						
	開会時間は、平日の放課後から午後5時まで。長期休業及び学校が休校の場合は、午前9時から午後5時まで。使用料(月額)として、第1子5,000円、第2子以降2,500円を徴収している。						
根拠法令等		児童福祉法・社会福祉法・羽曳野市留守家庭児童会条例					
事業開始時期		<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 42 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている				終了年度	平成 年度
事業開始時からの状況変化		保護者の共働きにの増加に伴い、入会児童数も増加しており、教室及び指導員の確保が困難になっている。また、平成15年度から、使用料を徴収している。					
市民や議会の要望		・長期休業や学校休校日の開所時間の変更(現在9時を8時半に) ・長期休業での4年生以上の入会 ・開会時間の延長 ・帰宅時の安全確保 ・不審者情報などの情報提供					
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()					
委託先		<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他			委託内容		

区分		20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込み)
事業費【1】 (千円)		5,305	4,987	5,103
人件費【2】 (千円)		105,600	107,400	107,160
職員数	正規職員	2.00 人	2.00 人	2.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	1.60 人
	嘱託職員	28.00 人	28.00 人	28.00 人
	臨時職員	13.00 人	14.00 人	12.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		110,905	112,387	112,263
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)	22,711	25,204	29,052
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)	29,555	29,638	29,760
一般財源 (千円)		58,639	57,545	53,451
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 開会日数	日	251	251	251
② 入会児童数	人	636	647	636
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		441,853 円	447,757 円	447,263 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		927 円	945 円	944 円



成果指標	指標名	単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績
① (式)	待機児童“0”教室数	室	保育に欠ける児童数を0とする事を目標にする。	14	13	14	13	14	14
						達成率(%)	92.9%		
② (式)				目標		目標		目標	
				実績		実績		実績	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○			○		○	○				有	保育に欠ける小学校低学年児童の健全な育成を図るため、法令・条例に定める趣旨を基本として運営を行う。

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	昨今の核家族化や共働きの増加にともない、保育に欠ける小学校低学年児童の健全な育成に向けて留守家庭児童会を運営する事は妥当である。 また、対象者（小学1年生～3年生）については、高学年になるほどニーズは下がり（1年生41.3%・2年生34.8%・3年生24.0%）妥当であると思われる。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	単位コストは前年度（21年度）と比較して多少改善される見込みである。受益者負担として使用料を徴収しており、使用料減免者が27%（21年度）におよぶが、他市と比較しても対象者は適切である。 他事業との連携については、放課後子ども教室との連携を国府の方から求められている。 民間活力の活用については、市民ニーズに合わせて検討が必要である。
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	放課後、保護者の保護下にはない児童（小学1～3年生）の安全で、基本的な生活習慣を身に付ける居場所として貢献している。 長期休業期間や学校休校日の開会時間を早めてほしいとの要望がある。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	家庭、地域、学校が連携し青少年の健全な成長を育む環境づくりができている。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	待機児童ゼロを目指し運営してきたが、児童の安全を第一に、無理な入会を避けた結果、待機児童が出た教室がある。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当 部局 評価	総合評価	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	
	評価の理由	
	<p>待機児童ゼロを目指し運営してきたが、児童の安全を第一に、無理な入会を避けた結果、待機児童が出た教室がある。</p> <p>今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)</p> <p>待機児童をゼロにし、健康な身体と豊かな情操、自主的な判断力と社会性を養うとともに基本的な生活習慣を身に付けることに貢献していく。</p>	
行 革 本 部 評 価	総合評価	
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	評価理由・意見 高コストの解消、及び減免基準の見直しによる受益者負担の適正化に取り組む。